

未来の私たちを守る省エネ

長久手市立北中学校

二年 内田 琴子

「省エネ」という言葉を聞いたことはあるだろうか。おそらくほとんどの人があると答えるだろう。省エネとは、省エネルギーの略称で、石油や石炭などの資源からできたエネルギーを効率よく使うことだ。社会の中で省エネが当たり前になれば、限りある資源の無駄づかいを少なくし、火力発電などの二酸化炭素の発生を減らすことができる。つまり、S G D s への取り組みが加速していく中、この「省エネ」は地球温暖化の更なる進行を防ぐ切り札ともいえる。

そんな省エネは、今、日本でどのぐらい浸透してきているのか。日本政策金融公庫によると、現在、日本の五十二パーセントの企業で省エネを意識した取り組みが行われている。経済産業省の資源エネルギー庁では、「省エネ法」という法律を元に、企業向けに省エネの情報を伝えたり、持続可能な発電について

学べるゲームの提供や、家庭や子供向けに省エネの方法を分かりやすく解説するなどしている。では企業以外で、省エネという言葉聞いたことがある人は、実際に省エネを実践できているのだろうか。「やり方がわからない」という人も多い。

そこで私は、家電やモバイル端末の省エネ方法を調べた。省エネのためにできることは二つある。一つ目は、音量や温度などを適切に設定することだ。例えば、私はついテレビの音量を大きくしてしまうことがある。それが、いつもより音量を小さくするだけで、省エネになるのである。他にも、エアコンの設定温度を見直すこともできる。夏は二十八度、冬は二十度が適切だと言われている。日立によると、夏は一度設定を高めることで、十パーセントも節電効果があるそうだ。いつも通り生活したい、でも省エネも取り入れたいという人におすすめの方法だ。

二つ目は、そもそも家電やモバイル端末を使う時間を減らす、ということだ。スマホを長い時間使って充電を繰り返したり、一日中

エアコンをつければ、使用する電力も増えてしまう。家電やモバイル端末に頼り過ぎず、適度に使えるように、生活を工夫することが大切なのである。例えば、少し寒い日は、エアコンをつけなくても、分厚い服を着たり、重ね着をすれば、寒さを和らげる工夫ができる。手間はかかるが、消費電力が抑えられ、効果は大きい。他にも、電子本ではなく、紙の本を読むという工夫もできる。本を購入しなくても、図書館で本を借りてくれば良い。その上、図書館で本を読めば、エアコンを使わず一石二鳥だ。このように、家の中でも、省エネは取り組みやすいといえる。

ここまで、省エネの方法を考えてきた。では、改めて、省エネには、どのようなメリットとデメリットがあるのだろうか。

まず、メリットとして、消費電力が抑えられる。つまり、地球温暖化の進行を防ぐこともでき、電気代も安くなるのだ。そして、電子機器を使いすぎて、本体が熱くなることもなくなる。これは、機械の寿命も守ることができるということだ。さらには、長時間、デ

バイスの画面を見ることがなくなり、脳と目に負担がかからない。環境にも優しく、人間にも優しい。このように、省エネはメリットがたくさんあるため、一人でも多くの人が取り組むべきだとおもった。

次に、デメリットを挙げると、使う電気に制限がかかるため、生活で息苦しさを感じた。り、贅沢できないということがある。しかし自分ができる範囲で我慢することは可能だと思う。地球は無限ではなく、消耗してしまうものなのだ。限りある資源を無駄づかいしないで、未来へ繋いでいく地球を、大切にしていかなければならない。

調べていくと、省エネは生活のあらゆる場面で実践でき、メリットも多いということがわかった。地球の環境、そして未来の私たちを守る省エネに、たった今から取り組むべきだ。私は、いつか社会を担う世代になる。その時のために、まずは身近な生活の中で省エネを意識していくことが大切なのだ。気づいた。学校の授業でも、省エネについて最新の情報を知ったり、実際にできることを学びた

いと思った。これからは、家族や地域のひとと一緒に、省エネの必要性を教え合ったり、理解しながら、自分ができることから実行していきたい。